

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212P301	看護理論 (Introduction to Nursing Theory)	専門教育科目 基礎看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	3	後	10月集中	原田千鶴、清村紀子、佐藤祐貴子 野上龍太郎 内線：5035 e-mail：charada@

【授業の概要・到達目標】

本科目は、3年後期からはじまる看護学臨地実習を前に、代表的な看護理論家の理論書を読破し、看護理論家の看護に対する見方や考え方を学び、看護現象を科学的に理解する力や看護の基盤となる看護観を養うことを目的とする。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 看護実践における理論の必要について説明できる	○						
2. 各看護学を構成する主要概念 (看護・人間・環境・健康) について説明できる	○						
3. 抄読した理論の看護における意味、特徴、実践への活用について説明できる				○			
4. 理論学習を通し学び自らの看護観について言語化できる							◎

【授業の内容】

回数	テーマ	学修内容	方法
1	学問としての看護学	看護学における理論 看護理論の発展過程 看護理論からとらえる看護 *抄読理論の選定	講義
2	看護理論から看護を学ぶ①	抄読する看護理論の生まれた背景・源泉 *抄読ゼミの進め方の検討	講義
3-8	看護理論から看護を学ぶ②	看護理論書の抄読	抄読ゼミ
9	看護理論から看護を学ぶ⑦	成果発表の準備	GW
10-11	看護理論から看護を学ぶ	成果発表 まとめ	W-Coffee Style

【アクティブラーニングの内容・その工夫】

A：知識の定着・確認	○	時間外学修：文献精読・要約 理論に関連する文献の多読	・選択した看護理論についてゼミグループで解釈・理解する。学生によるゼミ運営 (抄読文献の選定、各回の検討テーマ決定、運営を学生が主体となって取り組む)。
B：意見の表現・交換	○	理論の抄読ゼミでの発表・話し合い ゼミの成果発表、ワールドカフェ 最終レポート	
C：応用志向			
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	(7月)理論書選択のための講義・オリエンテーション (1h) 夏期休暇中課題：抄読する理論書の要約作成 (10h) 要約提出 (提出：9月16日～9月20日 厳守) 抄読演習の資料作成 (8h)
事後学修	各抄読ゼミでの学びで自分が体験した看護現象を説明してみる。(8h)

【抄読理論書】 抄読する看護理論書の購入 (7月中に実施のオリエンテーション開催し決定)購入は各自で行う。

【参考書】 適宜提示

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	到達目標1	到達目標2	到達目標3	到達目標4
最終レポート	50%			○	○
リアクションペーパー・学習態度	30%	○	○	○	
毎回のゼミでの学習評価表 最終日のゼミ成果発表評価	20%		○	○	

【注意事項】 2回以上の遅刻は欠席とします。

【備考】 2024年7月中に抄読する理論書を選ぶために講義・事前のオリエンテーションがある。

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	看護師 原田千鶴 清村紀子 佐藤祐貴子 野上龍太郎 他	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		なし
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	臨床看護師の経験者として、看護を深く理解している。また、学生のレイタネスを把握し、抽象度の高い看護理論を読み解くため、学生に分かりやすく教授する。	
授業形態	講義+理論+読ミ+プレゼンテーション	